



11/26 思いやりあふれる優しい社会へ貢献

市役所9階講堂で、令和3年度社会福祉事業功労者等に対する知事顕彰の表彰状および記念品等の伝達式が挙行されました。

本来は第64回沖縄県社会福祉大会で、県知事から長年にわたり社会福祉に貢献した人を表彰予定でしたが、感染拡大防止の観点から大規模な同式典が中止となったため市長からの授与となりました。

個人では川上幸子さん、団体では浦添高校ボランティア部、ガールスカウト沖縄県第1団、陽明高校ボランティア部、浦添市婦人連合会が表彰されました。

陽明高校の栗国芽衣さんは「先輩に負けたくない私たちも頑張ります」と話しました。



12/7 イルミネーションで生徒たちへエール

浦添中学校のPTAと生徒会が企画したイルミネーション点灯式が同校正門前で行了われました。

カウントダウンでガジュマルの木や花壇に飾り付けられた約1万個のライトが一斉に光ると、集まった浦添中の生徒や地域の人たちから大きな歓声があがりました。

イルミネーションをバックに、記念写真を撮ったり、笑顔が飛び交ったりする姿を見て、生徒会長の太畑椿さん(中3)は「今年から少しずつイベントなどもできるようになってきたけど、今日の点灯式は一段と盛り上がった。PTAの方たちからエールをもらった気がする」と笑顔で話しました。このイルミネーションは、1月9日(午後6時～午後9時)まで点灯される予定です。



11/20 地域住民へ届ける琉球芸能

県立芸術大学の学生と卒業生が中心の実行委員会による、琉球芸能の出前公演が屋富祖公民館で開催されました。昼と夕方の2公演ともチケットが完売し、屋富祖地域に住む幅広い年齢の住民が観覧に訪れました。

昭和初期の屋富祖村の様子が感じられる屋富祖口説など6演目が披露され、観覧した人たちは口々に「素晴しかった」「格好良かった」と嬉しそうに話しました。

屋富祖出身で実行委員長の波平宇宙さんは「昔からの住民や新しく引っ越してきた住民が、年齢など関係なく交流するきっかけになれば嬉しい。芸能を通して地域に恩返ししたい」と今後の活動を意気込みました。



オーダーを体験する内間小3年生

11/22 民具に触れて当時の生活を体験

内間小学校の3年生が浦添市歴史にふれる館を訪れ、さまざまな民具に触れながら当時の沖縄の生活を学ぶ授業を行いました。

児童たちはクラスごとに分かれて、うらおそい歴史ガイドや文化財課職員から民具がどう使用されてきたのか教えてもらい、実際にウチカビ作りや石臼での粉ひき、オーダーやバーキという運搬道具で野菜を運ぶ体験などに挑戦しました。

初めて見聞きする民具に皆興味津々で、洗濯板上に手に洗うコツや、石臼がいつ頃使用されていたのかなどを職員に質問しながら、手元の学習ノートにイラストを交え熱心にメモを取っていました。



6/28～12/9 浦添を“わたしたちの手で”よりよいまちに!

昨年6月から始まった、まちづくりプラン助成金交付団体(4団体)の事業が終盤を迎えています。今回は、子どもたちによる平和歴史ガイドへの挑戦、福祉避難所の設置訓練、養蜂を通じた若者支援、浦添西海岸の愛称募集を実施しています。

養蜂を行う、若者支援サークル ビー・フリー代表の宮城さんは、採蜜時に「当事者や地域の方々とみんなで協力してやってきたことが形になった。感慨深いものがある」と話しました。

浦添をよりよいまちにするため、自分にできることを考え、まち全体で市民協働事業を進めています。事業の成果報告は3月以降に、市ホームページなどで公開します。



11/19 第50号 輝くてだこ市民賞

輝くてだこ市民賞第50号の表彰式が市長応接室で行われ、浦添工業高校 調理科3年の上運天里華さんと古謝一歌さん(チーム名:ニライカナイ)に表彰状と記念品が授与されました。

2人は石川県金沢市での「全日本高校生WASHOKUグランプリ2021」で、琉球料理をベースに琉球すっぽん汁やジュシーの月桃包み等、沖縄のカラーを出しつつテーマに沿った料理を作り、全国110チームの中から見事グランプリに輝きました。

グランプリを受賞した2人は「自分の作った料理が認められ、グランプリを取れて嬉しかった」「色々な経験ができてよかった」と笑顔で話しました。

＼ 話題がいっぱい /

なかゆくい

市内各地で行われたイベントや、まちの話題をお届けします。ここで“なかゆくい”しませんか。(なかゆくい＝ひと休み)

市ホームページ「うらそえトピックス」にも市内のできごとを紹介しています。



11/6～1/30 みんなでGO! 電動キックボード乗車体験会

環境に優しい乗り物として、注目を集めている電動キックボードの乗車体験会が浦添大公園で行われています。

参加者は、始めは少し緊張した様子でしたが、丁寧なレクチャーを受けて乗車すると、坂道もスイスイ楽々、浦添大公園の自然と歴史を肌で感じながら走行を楽しんでいました。

電動キックボードを体験した人たちは「軽快で楽しい!」「気持ちいい!」「ハマリそう!」と大満足。CO₂を排出せず、SDGsの実現に向けた新しいモビリティをぜひ体験してみませんか。詳しくは観光ポータルサイトうらそえナビをご覧ください。